

富山検査

補修コンサル業開始

公共工事削減で活路

非破壊検査の富山検査（富

山市上野新町、吉岡裕一社長）

は、橋りょうやトンネルなど大型構造物の補修を専門とした建設コンサルタント事業を始めた。公共工事の削減方針から、既にある構造物を定期的に補修することで長寿命化を図る動きが進んでいるため。景気低迷で工場などの検査受注が伸び悩む中、新たな

事業の柱としたい考えだ。

同社はこれまで、大型構造物については、電磁波やX線で鉄筋の破断やコンクリートの劣化などを調べる検査事業のみ行っていた。しかし公共工事が削減される中、補修工事が増えてきたことに着目。今年4月、土木構造物の補修と橋りょう工事を専門とする技術士2人を採用し、検査か

ら診断、どの部分にどのような補修が必要かの提案まで一括受注できる体制を整えた。

今秋から本格的な受注に乗り出しており、3年後に3億円を受注高を目指す。